

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2016/03/11

第 26 号

基幹労連・政策実現完遂に向け総決起集会を開催

～オール基幹労連・総力をあげて勝利にまい進！～

基幹労連は、3月4日（金）午前10時から都内で「AP16中央総決起集会」を開催しました。全国の基幹労連構成組織と地方組織の代表、本部役員など約320名が参加。AP16春季取り組みの成果引出しと、本年7月施行予定の第24回参議院議員選挙の勝利に向けた総決起の集会となりました。

この集会に、基幹労連本部からシニアクラブに対しても参加の要請があり、初めてのことでありましたが、代表7名が参加し、激励を行うとともに、勝利に向けてまい進することを決意しました。

政策実現完遂に向けた集会では、加盟組合と地方組織代表からの決意表明の後、宮園哲郎会長からも激励とシニアクラブとしての決意の表明を行い、会場から連帯の声があがりました。

そして、最後に組織内候補予定者ととろき利治氏から、「全力で頑張り抜く」と力強い決意が表明され、全員の力のこもったガンバロー三唱で締めくくりました。



全力で頑張り抜きます！（決意を述べるととろき利治氏）

政策実現の完遂に向けた決議（抜粋）

わが国は今、超少子高齢社会の到来と人口減少によって、あらゆる面で大きな課題を抱えている。一方、資源・エネルギーの確保をはじめ、労働力人口の減少による人材確保は人を基軸としたものづくり産業においても喫緊の課題となっている。本年7月施行予定の参議院議員選挙は、こうした状況を打破し、全ての働く者と生活者の安心・安定に加え、わが国の屋台骨である、ものづくり産業の持続的な発展に向けた重要な取り組みである。

今回の取り組みは、まさに組織力量が問われる基幹労連としての真価を賭けて挑む戦いであることを忘れてはならない。取り組みの基本は、組合員とその家族、OB、組織内議員を中心とした、オール基幹労連の取り組みである。基幹労連は、全県本部・県センター、加盟組合・構成組織一丸となり、自らの組織をフル回転させ、総力をあげ勝利する。

（日本基幹産業労働組合連合会・AP16中央総決起集会）

～政策実現・シニアクラブからの激励メッセージ～

以下の内容は、3月4日に開催された基幹労連 AP16 中央総決起集会で、シニアクラブ宮園哲郎会長が表明した激励と決意表明の要旨です。

オール基幹労連としての組織力・真価が問われる取り組み

OB・退職者への支援協力の要請は出身組織を通じて徹底を



「とどろき選挙」は、私どもOB・退職者も含めた、まさにオール基幹労連としての組織力・真価が問われる取り組みです。シニアクラブは、組織としての対応はもちろん、会員各位がそれぞれの立場で精一杯の支援活動を展開し、オール基幹労連の一員としての役割・責任をしっかりと果たしていく決意です。

「OB・退職者への具体的要請は、各々の出身組織を通じて行う」ことになっているのは、ご承知の通りです。OB・退職者の支援がどれだけ得られるのか。それは、各構成組織からそれぞれの対象者へのお願いなり要請が、どれだけ徹底されるかにかかっています。組織内を固めることとあわせて、現役の皆さん方の力強い頑張りに頼らざるを得ないことをご理解願います。

「3年前の轍は決して踏まない」という、不退転の決意

基幹労連は、これまで2回の「とどろき選挙」を経験し、参議院比例区選挙の難しさや、民主党に対する逆風など、その困難さや厳しさを重々承知したうえで、「とどろき」擁立を組織の総意で決められました。そのことには、当然のこととして「3年前の轍は決して踏まない」という、不退転の決意が込められているはずです。また、連合の会長を送り出していることは、大変誇りであると同時に責任もあります。それにふさわしい、恥ずかしくない結果を出す。「とどろき利治」を何としても当選させる。そのことが基幹労連に課せられた使命ではないでしょうか。もちろん、私どもシニアクラブも精一杯頑張ります。しかし結果は、何と言っても現役の皆さん方の頑張り次第です。

シニアクラブも頑張るが、現役皆さんの頑張りがカギ

残された期間は4ヵ月。これまでの取り組みの上に立った、これからの取り組み、頑張り如何が、当落を決することは言うまでもありません。

全ての組織の、真剣でひた向きな・真摯な頑張りや、「とどろき利治」の当選を果たしてください。皆さん方の手で「とどろき」を何としても勝たせてください。

そのことを重ねて心からお願いし、激励の挨拶とします。頑張りましょう！！



地方ブロック連絡会（第2弾）の開催準備を進めています

基幹労連退職者の会と県本部退職者の会がともに連携を深め、地域における退職者の会組織運営の充実・強化を図るため、地方ブロック懇談会（第2弾）の開催を決定し、現在開催準備を進めています。各地方ブロックでは、幹事県本部を中心に日程の調整が図られ、徐々に開催要領が固まりつつあります。

地方ブロック懇談会（第2弾）では、政策実現取り組みの成功に向けた、今後の活動のあり方についても意見交換を行います。担当する県本部の現役・OB会役員の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご支援、ご協力をお願いします。

以下は、現時点で開催日程が確定している地方ブロックの状況です。

- | | | | |
|-------------|----------|---------|-----------|
| （中国ブロック懇談会） | 4月15日（金） | 開催地：岡山 | 担当県本部：岡山 |
| （近畿ブロック懇談会） | 4月22日（金） | 開催地：大阪 | 担当県本部：兵庫 |
| （九州ブロック懇談会） | 5月19日（木） | 開催地：鹿児島 | 担当県本部：鹿児島 |
| （四国ブロック懇談会） | 5月20日（金） | 開催地：愛媛 | 担当県本部：愛媛 |

政策実現・とどろき支援活動 **地域からの便り(第3弾)**

広島県本部退職者の会 「とどろき」「やなぎだ」両氏への支援の輪を拡大中



基幹労連広島県本部における退職者の会は、広島県本部に加盟する各構成組織に結成されている退職者の会が集結し「退職者連絡会」を設立、2004年3月に第1回総会を開催して以降、活動をしています。

退職者連絡会の活動は、6月に総会を開催、幹事会は年2回程度開催し、都度の課題の協議や、近況など相互の情報交換に努めています。また、上部団体の「広島県退職者連合」（略称：広退連）においては、中村会長が広退連の副会長を務めており、幹事会や親睦グラウンドゴルフ大会、定期総会などの諸行事の際には中心的な役割を果たしています。

政策実現に向けた取り組みについては「とどろき利治」氏、および「やなぎだ稔」氏の支援拡大のため、構成組織と連携を図り両氏の後援会への入会・紹介活動や定着活動に取り組んでおり、参議院

議員選挙に向けて今後も支援の輪を拡大すべく努めることとしています。

(広島県本部退職者連絡会 事務局長：松本繁男)



広島県退職者の会
2015年11月
とどろき氏オルグ
記念写真

兵庫県本部退職者の会 「結成10周年記念のつどい(6月)」を企画中

兵庫退職者の会は、現在、10組織9,838名で構成されており、主な活動としては定期総会と年数回の幹事会および会員を対象とした研修会を実施しています。また、兵庫高退連(兵庫高齢・退職者連合)活動に対しても積極的に参画しているところです。

これまでの政策実現の取り組みとしては、昨年7月1日に臨時幹事会を開催し、兵庫入りをされていた「とどろき利治」政治顧問本人と活発な意見交換をする中で、改めて国政に組織内議員を送り出すことの必要性を各組織と共有しました。また、8月26日に開催された第5回研修会では、基幹労連本部より風澤事務局次長をお招きし、「基幹労連退職者の会の活動及び政策実現活動について」講義を受け、その中で、経験と実績のある元気なOBが現役をバックアップしてほしいと熱く語っていただきました。シニアクラブニュースの新年号(No.24)で紹介したとおり、12月22日には第10

回定期総会を開催し、改めて、兵庫退職者の会としても「オール基幹労連」の一員として、2016年夏の選挙の必勝に向け、県本部退職者組織及び現役組織間の連携を基本としながら各退職者組織の実態に即した取り組みを進めることを確認しています。

足下は、支援者・紹介者の拡大に取り組むとともに、6月に数百人規模で開催する結成10周年記念のつどいを企画中であり、これからも「とどろき利治」の名前を兵庫県内の隅々にまでとどろかせるために全力で支援していきます。



兵庫県退職者の会・とどろき氏を迎えての幹事会の様子